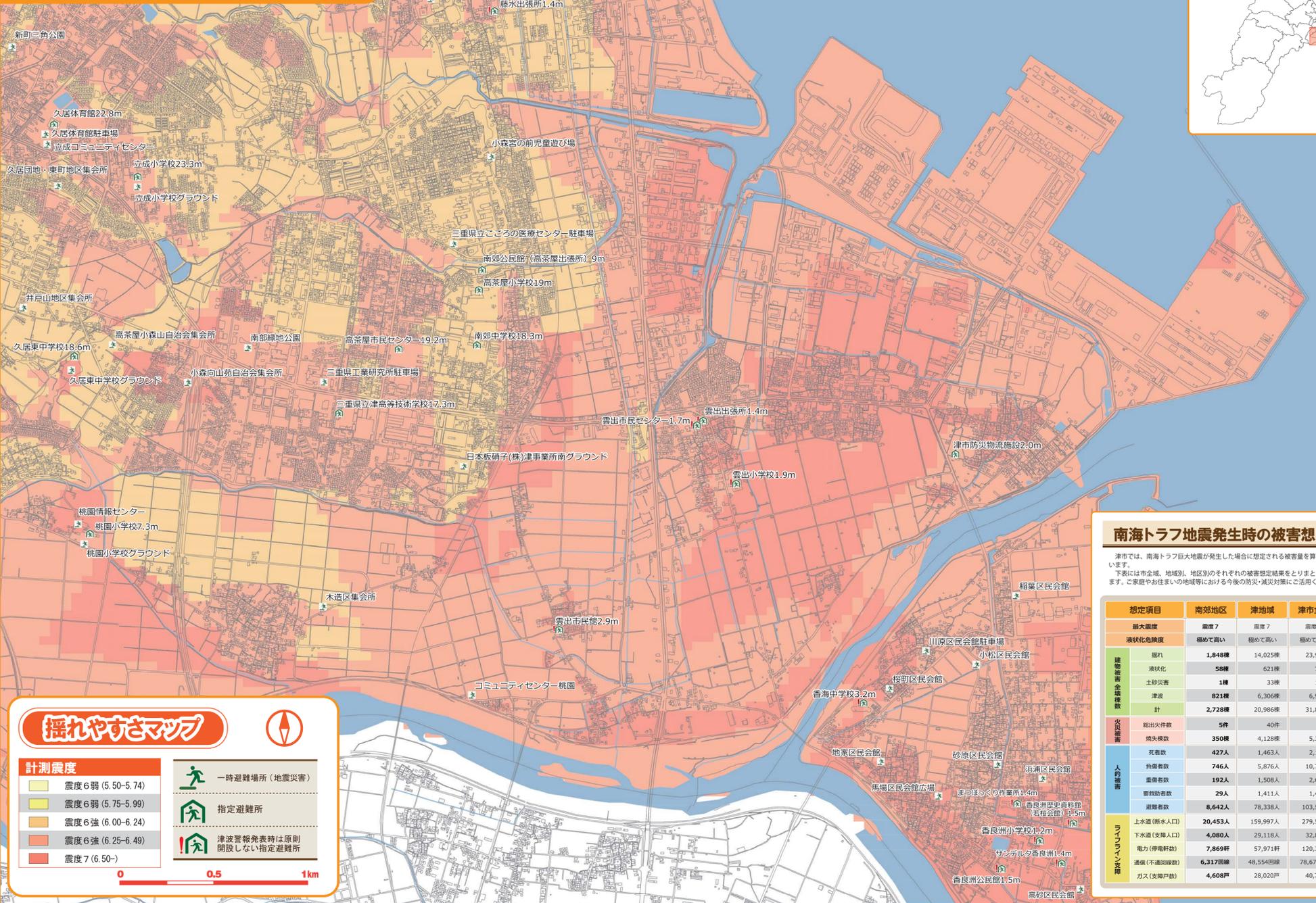


南郊地区【高茶屋・雲出地区】



揺れやすさマップ

計測震度

- 震度6弱 (5.50-5.74)
- 震度6弱 (5.75-5.99)
- 震度6強 (6.00-6.24)
- 震度6強 (6.25-6.49)
- 震度7 (6.50-)

一時避難場所(地震災害)

指定避難所

津波警報発表時は原則開設しない指定避難所

0 0.5 1km

南海トラフ地震発生時の被害想定

津市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害量を算出しています。下表には市全域、地域別、地区別のそれぞれの被害想定結果をとりまとめています。ご家庭やお住まいの地域等における今後の防災・減災対策にご活用ください。

想定項目	南郊地区	津地域	津市全域
最大震度	震度7	震度7	震度7
液状化危険度	極めて高い	極めて高い	極めて高い
建物被害全壊棟数	壊れ 1,848棟	58棟	1,906棟
	液状化 1棟	33棟	34棟
	土砂災害 821棟	6,306棟	7,127棟
計	2,728棟	20,986棟	31,801棟
火災被害	総出火件数 5件	40件	45件
	焼失棟数 350棟	4,128棟	4,478棟
	死者数 427人	1,463人	1,890人
人的被害	負傷者数 746人	5,876人	6,622人
	重傷者数 192人	1,508人	1,700人
	警察助走者数 29人	1,411人	1,440人
	避難者数 8,642人	78,338人	86,980人
人的被害(避難者以外)	上水道(断水人口) 20,453人	159,997人	180,450人
	下水道(支障人口) 4,080人	29,118人	33,198人
	電力(停電軒数) 7,869軒	57,971軒	65,840軒
	通信(不通回線数) 6,317回線	48,554回線	54,871回線
	ガス(支障戸数) 4,608戸	28,020戸	32,628戸

津波浸水時間マップ

浸水深が30cmに到達する時間

- 地震発生～5分
- 6～60分
- 61～75分
- 76～90分
- 91～115分
- 116～130分
- 131～145分
- 146～160分
- 161～175分
- 176分～

津波避難ビル

津波避難ビルは、津波から避難する際に、逃げ遅れた人など、どうしても速く避難できない人に少しでも安全な高い場所を確保するためあらかじめ指定した建物です。

津波避難協力ビル

津波避難協力ビルは、津波避難ビルと同様に少しでも安全な高い場所を確保するためあらかじめ指定した建物ですが、所有者や管理者が指定した日及び時間限り避難できる建物です。

時間ごとの浸水の要因 (地震発生～約12時間)

- 5分: 堤防等からの浸水
- 1時間: 地盤沈下に伴う浸水
- 12時間: 津波到達による浸水

※津波の最大浸水深が30cm未満の場所は着色されていません。

津波避難のこころえ

- 「避難は徒歩が原則」
建物の階層や地下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。また、渋滞や交通事故のおそれがあるため、歩いて避難しましょう。
- 「想定にとらわれない」
想定以上の災害が起こることもあります。想定にとらわれず、その時の状況を見極めることが大切です。
- 「率先して避難する」
勇気を出して率先して避難すれば、その姿をみる他の人も避難するようになり、多くの人の命を救うことができます。
- 「最善を尽くす」
自分は大丈夫、こまごまでは大丈夫ではなく、その時できる最善の行動をとりましょう。
- 「地域での協力が大切」
お住まいや他の自治体の方々に声をかけて、一緒に避難するなど、近所で助け合いましょ。
- 「河川に近づかない」
海から離れていても、津波は河川を遡ってやってくる。避難するときは、河川から離れる方向に避難しましょう。
- 「逃げ遅れたら、津波避難ビルへ」
いざというときに、どうしても速く避難できない場合は、「津波避難ビル」または「津波避難協力ビル」に避難してください。

津波浸水深マップ

